

町内の観光は

【杉谷議員】今の大山寺参道は閉まっている商店が多い。イベントをもっとすることによって、昔のにぎわいを取りもどすことが必要だ。

【遠藤議員】昔大山寺では三力所の豆腐屋があった。昔からあったものの特産・名物にすれば大山を見る目も違ってくるのではないか。

【野口昌議員】大山に来てもらうために、最も大切なことは宣伝だ。大山地域振興室ができ、宣伝に力を入れることができる。

【圓岡議員】大山寺には奈良に負けない仏像の魅力がある。阿弥陀堂だけでなく、理観院の仏様など磨き切れていない資源をPRする必要がある。

【米本議員】大神山神社奥宮や

大山寺本堂は観光地だが、車イスでは参拝できない。人にやさしい観光地のために、行政もできることはすべきだ。

【吉原議員】観光は商品が充実していないとたいへんだ。古事記に関係するものや日本一のものもたくさんある。観光案内人の充実が必要だ。

【西山議員】大山寺には美しい景観・教育・健康・観光など環境は整っている。旅館のおもてなしもあるのも、もっと宣伝に力を入れる必要がある。

【西尾議員】大山寺開山1300年に向けて、一貫性のあるイベントをつなげていくことが大切だ。

【大杖議員】エコツアーリズム国際大会では注目されたが、今のままでは宝の持ち腐れだ。歴史など、ストーリー性をもって宣伝することが大切だ。



にぎわう大山寺の参道

産業の発展は

【大森議員】山陰道の開通によるマイナス面として、中山地区での9号線沿いの商店・食堂・石油スタンドなどへの影響がこれからはある。

【野口昌議員】山陰道の開通を機に、関西方面からの企業誘致に取組んで成果があられば、それに越したことはない。

【西尾議員】近畿・中京とともに、これからは福岡・山口・新潟など環日本海をにらんだ企業誘致を展開してほしい。

【圓岡議員】物流が変わり、新しい発想を持った人が出てくるだろう。今後何をすることも幅広い発想を持たないと無理ではないか。

どうする道の駅

【米本議員】「物産館こつら」では、野菜と鮮魚が同時に買える。しかも開通すれば10分ほどで行ける。車がそちらに流れるのではないか。

【杉谷議員】本町の道の駅には特産品がない。海産物とか農産物、それらを使った2次加工品など、ここでしか買えないものを置くべきだ。



今後が心配な道の駅

【岩井議員】道の駅には花が少ない。町内には花の生産農家もある。米子まで行かなくても切り花が買えるようにしてはどうか。

【近藤議員】町の活性化について、どうしたら具体的に実行ができるのか、議会で議論を重ね、行政に提案をする取り組みが必要でないか。

【加藤議員】みくりや市では物販をやめてカフェや飲食に、道の駅は物販に専念する。そういう思い切った方向転換が必要だ。

【遠藤議員】町内に農産物の小さ

な加工グループがいくつかある。恵みの里公社で商品化して、町のおいしいものとして情報発信をしてほしい。

【野口昌議員】恵みの里ではソフトクリームが有名だ。「山陰道では、このものが一番おいしいんだ」というところまで作り上げる必要がある。

【吉原議員】一カ月に「回程度、みくりや市やお魚センターに上がってきてもらって、「海幸・山幸フェア」というイベントをしたらどうか。